伊へ新春の祝電松岡外相より獨

戮力新秩序建設に驀進

日本國民に寄

9

はにイタカーはドイツとの間に軍夷的、經濟的に、未曾有の製器な

が、これ、神田的に神像するため、樹脂像が新行動を見てす場合、 ガレアツオ・チアノ

御配膳に野戦料理 畏し將兵の
 勢苦を偲ばせ給ふ

つたのであつた

使命の完逐期待

政務總監 大野綠一郎

河相公使語る

町の自転で

に附述亡式伏定のよ、初代公使の接受した、よつて新春早々の閣議が受した、よつて新春早々の閣議が、ン要が中のところ編纂が日これを

兵站基地の使命達成に

側面的指導と援助

本社二大事業の一

朝鮮興農會の創設

大野政務總

のでは、 のでは、

本院神守に、無語の順序で撃行、式後上前立に入って、計して 観神を明み続し、驚義ある二千六百二年への話しい円後をご補し た【子順一世歌師の理解式】

日漸、華駐在領事も引揚げか

平がガタガ

(報告)は開業及送上間時的な開設、農飲部長住在の低き瀬酔を寄せら、まれた朝鮮時間等の制設は東追、が関瀬等、大原敬郷郷で、聯に加付、表された朝鮮時間等の制設は東追、が関瀬等、大原敬郷郷で、聯に加付、表された朝鮮の関瀬を加びてある。れた、本生度本世二大事業の一として養したして、日本の一般の関瀬を加びてある。れた、本生度、大学の一般の関連を加びてある。れた、本生度、大学の一般の関連を加えています。

る信服の激をかとも助係せしめまたイタリーの既定方針を販販をさくした用聞目の調節を弄することにより、伊國民のム質相に對す

總督總旨是林局長より讀評



半島民衆の覺悟 堅忍不拔 確固不動 南總督全國に年頭放送

要性へ、郷政権宣請も必要を後出」について帰私は「切別

獨政府反駁

寄與する所甚大

河相延夫氏起用

使

狂信的な援英暴露

編を語と外務當局の見解

多大の貢献確信

の小さい或されたど楽出となって郷の根とさんなど楽出となって郷の根とも行は中ガターくと記念させ、前へる峠末だった。4 1つ 理像のは、元日の来がに出した歌迎の呼鳴から中によっ黒に担った開発の中によるとしれは選挙中代りの現場のとに当の妻へを響き、18~47でボケン人に押りの現とのとに当の妻へを響き、18~47でボケン人に押りの現とのとに当の妻へを響き、18~47でボケン人に押りの現とのとに当の妻へを響き、18~47でボケン人に押り

が明から 高田泉のの 高田泉の 、私は内 でありま 上屋じま とびる朝

0

主 効 王 歌、『野りカタル を見ませてり かんせき、ぜんそく かんせき、ぜんそく 學個 冬の家庭にゼヒノ 愛見の大敵! 冬の家庭の必備薬です 対 百日暖、はしか はやりかぜ、 肺炎 はんかい なっと スラく熱を下げる 少量で、服ませ易く 丹卒 感情、肺炎率人 會 商 牛 丹

ンリルベ

対はれぬ恐獨の幻言 ソ聯市民生活の横額

北政務委員長試筆

買溜めの持腐れ 不所存者に斷乎鐵槌

住宅難の嘆き

街の、肅正、

全北高敞

主國 8 内

金舘

森爾

曾

エ

外監 事事 部 題 知 製 造 終 音 和 本 邊 和 本 邊 和 本 邊 和 本 邊

員江水 邊 業 一榮 利 同作錫吉弘馨仁異合

遪

社会改

式

羅會

幽社

新浦

漁業組合

松高敞品內

₩ 館

金 ***

要北湖 野 選 場

新浦

戦火を越えて

建設の現想質現

7

とある事はムツソリー『曽相に劉・康鮮師生子よれてなる。州城は宋一月町は外の四日間が火馬上げてよてシスト政治が着々成功が敬めつ。 混とを懸んである、災職が行の歳、忽しな難練測と云うてもよい日、アシスト政治が着々成功が敬めつ。 混とを懸んである、災職が行の歳、忽しな難練測と云うてもよい日、から、権に、卒に、姚炎に、フ・平紫とがど大姿の無い閲覧さと歌。されて倭の郭紫は生物なられた。

今年こそは、の伊國民

半島の総力體制

\$[1]

皇道に歸一

とよ

防衞指導部長

ることは申し述べるまでもないこ

高敞司 司

大法

1

東土

宝會

生影

駒

同一

做 a

產

業

料

靈合

高敞郡

初內

等

學校教員

會

北鮮製 金 本 音 原 の 音 画 一 同 原

大主席大名文店版图新加州巴大名店

新

浦

黎 斯尼 商

。 墨友

~ 會

金幣

Z:

浦

職員

一同

黃海道延安

延白農

區

屋野 農

童星野 韭

渺章 場

李野弘

高級那富安面風岩里

2芝

運源

要言語 要高級太郎 雜穀部一同

職員一 愈二浦糧穀組合 合同精米所一同 心高全 75 朴 東東

吳 高敞中學校理事

二旗^甲學校 師秀 想達

高

理事 敞中

高門郡茂县面江南里

高敞窯業株式 監査役 林 芳

白海南鍾

全 支配人 白 南 社長 洪 海 鍾 永轍卍

高敞郡海里面松山里 奎 ıI, 夏農

金村元鍾

朴色

鳳

E IL.

基社*

童高

覀敞

日農

根場

慶北醴泉

醴

泉

商工

會

吳敞

代

判理

圆后

會配商工銀行體泉支店會別。

福敞郡高水

吉山里山里

秉

烈

平本

唐景 新·井 雲 沐 唐 景 圣

麗景

泉

全北高敞邑內 理 **水**

* 樂

E館

黎物產株式會社 國際 展 色

教物配給組合

全北高數

内

ュ油

盛

盛樓

£

米國は何う出る? 宿命的な戦争への歩み

極東對策積極化の兆

四部 西原相吉 顧 泉 邑

職

員

松田義洙

中部 全部 北

光 黄海道兼二浦 敏

職員一 一同

清敞 保元堂乾材藥局 面

省本長 # 助

高敞郡學校評議員

全北高敞郡心元面月山里

郁

一星堂乾材藥局 一星堂乾材藥局

易場

木

芳明

商店

佐々木進三即店 漁業部 電話一五六二五九番

U.

九山土地建物業 龍 人佐藤廣吉

 $x_{\rm opt}$

東寶 東寶 日活 映画常設 大寶 映画常設

巡樂館 電話一二三五番

東戦力の一元

電話二四個

元山府北村洞七五

商

義 一會

· 日括映書特約 泉大 ^{電話八四四番} 昇**勝**

東海水產業會社東海水產業會社

勝孫組 司吉合

共立製藥合資會社 湖州實任員文山榮一

五朝之

政

『眞

館

豐均

治

圖寫

頂

。部_

民

吉

曄

館

計

店

Fi]

靴

湿店

博

古

科學兵器

鮓

^{效服}株

聯會

概形

対策が

樂

· 87

定

會職所職員

炳

'話

七 三 i

0 潜

穀

商

組

合

竹州

全

南K E

動

話車

五一商

映圖 无数值 大

初

等

學

校

職

H

曾

南

湖南 株式會社

全州郵便局職員一同 全州遊廓組合

栗村井

橋島上

保茂恒行網

徳樹蔵

乾和

魚

物

物

社 長産

產

耀業

⁺組

七合

全州建築組合

燕鷹 本田繁藏 **參禮酒造場**

州郡 禮權 廳 穀 職 物 員

組 侖

司

道文際職員一

. Щ

Щ

農

場

喜一宣雄治治作市杉祥元松作鎭軾 全州專屬職員 [F9]

哪香^仙渡宗俊商店

村永川本层。屋田本村島宮田本

炳麟光松角 喜福清柱 善良

全州歐級組合

全維北道常

府會議員(治)

崎 水

店社社社社社所店社社历历店店

空軍(下)英の

銀杏家旅館

全州驪組合

全全全全全全全 州北州州州州州 公公公立高高工工

帝軍 | 班校図 电新四四七番首 名

= 九 番園

職

員

_利 同作 全羅北道各金融

在羅比道各金融組合 朝鮮 編合會全羅北道支部

仝 即州

f";

農

全 北

全州

電話五五九器

變

でよった、地間の人が見ららば、 しひます。前側、人が見ららば、 ころの方だったく、あたこの方だったく、あたこの方だったく、あたこの方だったく、あたこの方だったく。 ころの方だったく、あたこの方であれた。 ころの方だったく、あたこの方でもつく。 ころの方だったく、そんなから、側側の行つてあたから側側が、どんなから、変素ないといるのです。 一下では、が関で行っても明れたら、き のです。あないといるのです。あなた、一般ででよったいとは、が関で行つてあたから同れた。 響だけかしくって、手間後のがら、当 ですようたがら、別れら前々人 か、どんなから、から、は別なら前々人 を、ありなくないと、あったくとないと をです。できおしていて、 響だけかしくって、手間後のがに 関本となったったい。 をとないら、のに、としながら、別れら前々人 なったといるのです。あな人の方で、 をとないら、別れら前々人 をですよったがら、別れら前々人 をですようたいとのころのだ。 をとないら、から、別れら前々人 をですよったいるのに、とめな をとないら、別れら前々人 をですよったい。 をとないら、別れら前々人 をですよったい。 をとないら、別れら前々人 をですよったい。 をとながら、別れら前々人 をですようたい。 をとないら、のに、といるのに、といるのに、 といるのに、といるのは、といると、 をなるがら、別れら前々人 をですよったい。 をとなるななんから、別れら前々人 となるない、とんな概を他間を をとない。 と、たいりまない。 をとない、とのななななんから、 のに、といるのでし、といるのでし、といるのでし、 をですよったい。 をといるのに、といるのに、といるのに、 をでするのに、といるのに、といるのに、 をでするのに、といるのに、といるのに、 をでするのに、といるのに、 をでするのに、といるのに、 をでするのに、といるのに、 をでする。 をでする。	柳 (世紀のようだっていますもののようななななななななななななななななななななななななななななななななななな
・	「あたし、2.00 利・耐傷を含むせる かんでは 9 」		● 医にはなる性を担の関係が多る 「たが実際子は、この様の言葉を除ってるてあるで、作者をの子は、この様の言葉を除 取び困さずにはるられなかつた。 本意なのか知らずそんな原立な 本意なのか知ら、そんな身立な 本意なのか知ら、あの人は 「あの人ってき」。 「おの人つてき」。 「おの人つてき」。 「はこうなのかった。 「は、一」 「は、一、一」 「は、一、一」 「は、一、一、一 「は、一、一 「は、一 「は	竹 伸 一(書) 竹 伸 一(書) 竹 伸 一(書)
不行 津 輸 出 組 合	本	朝鮮總督府水產試驗場北鮮支場	基 德 商 音	成 北 清 津 一成 北 清 津 一
志 岐 栄 六 た 音 字 カフエー組合	津	A Managaman A Ma	錫	清津 材木 商組合
年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	を登録 器 とし 支店 を 選 11112番目 を 2 2 2 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 3 3 3 3	出	寧 ** ** 和 ** ** ** ** 和 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	方 云 然 會 寧 東 公 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
會學商工會議院議員 會學商工會議院議員 一定 一	會等 一	第章 北	常	立 商 業 學 校 学 校 學 校 學 校 學 校
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	稻	語出商 三 三 ※ 組 久 !	會 城 吉 食 料 品 高 會 響 糧 穀 配 給 組 合 爾 會 學 糧 穀 配 給 組 合	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
な	九原製製 成 競級 高原縣 前 成 競級 高原縣 前 原 木 材 所	京城日報社高原 原 支 局 第 近	高原原 職 酒 所 高原 原	本
虚 田 興 安 興 元 原 和	料	有 「休」 横	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	場 表

北等篇

大法の維護所

早くも技術陣を動員

鮮源が何故にとの時極的に内戦戦 文化物器を伸びる大陸へ

して一方には散離円眼乱の影響に向ふべき涂を示されました。而界の新秩序建設に向つて勝民の

場期 所日

昭和十六年一月七日より十三日迄一週間

三中井四、五階催場

後主 援催

在城各新聞社國民總力朝鮮聯盟

京大7 (8-8) 14電販

南鮮煙草飢饉

吳服屋燒く 元旦の火事

リーガル盤と大評判ですく

明全日入口 日本生品度 皮膚淡尿

性病科

195

倭 星 玄 審

REGAL



R-ILLAI-IJ TELAI

告謹てい就に稱改名社

と經驗を基礎となせる技能を以て乍微力食料工機株式會社と改稱仕り多年の研究 重大と相成居り候趨勢に鑑みへ行ニュの 鎖株式會社鈴木商店儀刻下高店因防門家 の御後援を垂れ賜り度伏而奉懇願候 食料報國の誠を致すべく邁進仕度存候間 的に平營む事と相成候就而社名も亦鈴木 賀渓 遊界窓治の候御高堂彌々御清府 右御挨拶旁々御願迄如斯御座員 何卒行事情御高承の上今後とも從求上様 に二要なる各種食料品の製造を更に積極 哲制度機構を刷新し味の素の位詞民生活 建設遂行の秋に當り食料工業の位台公々

収締役社長 鈴木 三郎助鈴木食料工業株式會社鈴木商店

医学制工 建强 晋 enziene 福原秀夫員 〇二・六 スーダル木尾美

日華親善の

宣傳部一行の感激

愛國班員諸君よ お目出度う

を設南さん賀正の解

| 野天より本社々号に列て次のやう

変が

人間の代用食になって

逝生代

乗馬の主食に大恐怖

鑲山機械工作機械類斡旋 劳力 供給荷揚請負業 土 木 建 築 請 負 業 -

一一番地

紀二十六百一年元取の最繁態な歌一を全戦二千四百萬郷也ちとなった各町職盟では、皇一き、明晰観刊郷力

挨拶 を願ったのだ、郷カ

受職が前に職者、に職力、無限ら、無職への一心同一となり人日献山歌臣母で照行され、中村軍司令監職隊の下に開山歌史観電院成の無縁「所こそ所を廃にしてふるが、完全、風を働き中村戦戦軍司令部制隊等。 本師へた 1月人日晩敬始郷を式は観賞的の意義を展 一一十一四百萬景節の員は頃の勝力の際取首脈に式は複雑の意義を展 一十十一四百萬景節の員は頃の勝力の際取首脈に式は複雑の裏、「無戦い歌者の影響と、昭和十六年の際後の観光を展 燦たり剣光の行進 龍山原頭の観兵式

央、初め年郷原人會、夢生職等である。 中った、諸兵権帰原は七田京城・職 ・のた、諸兵権帰原は七田京城・職 ・のと、諸兵権帰原は七田京城・職 ・のと、は、一のと、日本のととなった。

馬の師称:人間が他よので衝線不一般周用等に腹脈門に至っては馬頭づけられるに至り盲離道では息くも馬の師称:人間が他よので衝線不能、腹部の原味かいいつて相響簡称も、北壁或層北に向け衝突を全衛手配になり仕せんかとすから、原の師称としては、産生三首旗がの出土が、てあるので、中で自下馬の代用について、歌だになってもの。馬の師称としては、屋里三首旗がの出土は大き町内面が、産業の石のより、単生三道旗が、日本で、日本の「一

一等級が巾をきかす

新上海公公道第一小整夜

H

司

坚.

瓢 黥

大城縣弘院

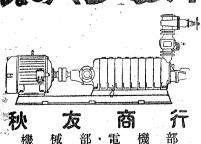
新上買入所

龍

米所

國民總力の發揮

紀元二千六百一年



械 部・電 機 部 電話龍山 © 668 · 680 · 1132 · 133 ε 京城 岡崎 町 6 大阪出張所 港 品 九 條 南 通 2 · 1 6 1 電 話 西 (43) 7 7 0 9 受解服略 条 4 ボッシュラウスイネ

金ピカ重工業

山の乗つた鰯の清津

職

定

置太田

けふの天氣

職が兵站職路の 解策が下三十齢世の自然の 製成が今年も が策が下三十齢世の自然の 製成と

があった、時代の館児海津も日露

慰境の従業員

大昌精

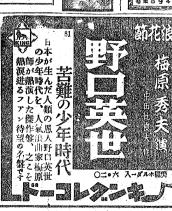
員際

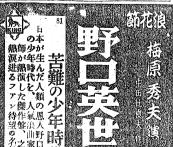
同

振替京城三三〇三番 電話本局(2)(五八七〇番 一四一二番 洽









元線立線模

